

## 12 子育て環境の充実

- 子育て世帯の心理的・時間的・経済的負担の軽減に取り組みます。
- 結婚を希望する男女のより多くの出会いの機会創出に努めます。

### 現状と課題

#### <相談体制>

- 核家族化傾向の中、子育てに悩みを抱える親が増加しています。また、こどもの発達障害による育児不安や保護者自身の精神的問題等、養育困難な事例も増加傾向にあります。
- 安芸高田市では、「子育て支援センター\*」を設置し、親世代が持つ子育ての不安や悩み等に対する相談体制を構築しています。
- 平成26年6月にオープンした「こども発達支援センター\*」では、乳幼児の発達・発育について支援が必要な保護者の状況を早期に把握し、必要な助言と発達段階に応じた日常生活の指導を行っています。
- 今後、ニーズに応じた支援内容の充実が求められています。

#### <幼児保育>

- 安芸高田市には公立9園、私立5園の計14園の保育所があります。公立保育所には、延長保育・土曜保育の要望等が寄せられています。
- 平成25年より公立保育所5施設で土曜日終日保育を始めたほか、向原こぼと園の運営を民間に移管することにより、サービス向上を図りました。↑

- 待機児童\*は、3歳未満児の途中入所で若干生じています。ファミリーサポートセンター\*事業の会員数は横ばいですが、利用件数は増加しています。
- 子育て支援センターで、一時預かり、病後児預かりを実施しています。

#### <児童保育>

- 安芸高田市の放課後児童施設\*は、児童クラブ15施設、放課後子ども教室1施設の計16施設です。
- 放課後児童施設の利用希望者は増加傾向にあり、平成25年度は3施設で定員超過と待機児童が発生しました。

#### <婚活\*支援>

- 安芸高田市では、結婚相談員やコーディネーター\*の取り組みを中心に、結婚を希望する男女の出会いの場の創出に取り組んできました。
- 平成24年度までに12組が成婚し、平成25年度は新たに5組が成婚に至りました。コーディネーターのノウハウも蓄積されつつある中、引き続きその推進が望まれています。

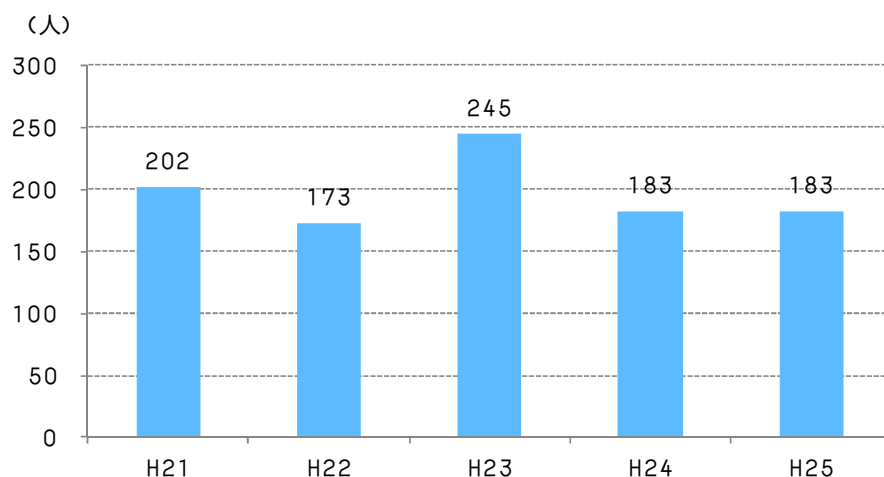


### 目標指標

目標指標	現状値 (H25)	目標値 (H31)
ファミリーサポートセンター登録者数 (提供会員)	85 人	➡ 115 人
保育所の待機児童数	9 人	➡ 0 人
放課後児童施設の待機児童数	12 人	➡ 0 人
婚活事業による成婚者数 (累計)	17 組	➡ 35 組
合計特殊出生率*	1.66 (※)	➡ 向上を目指す

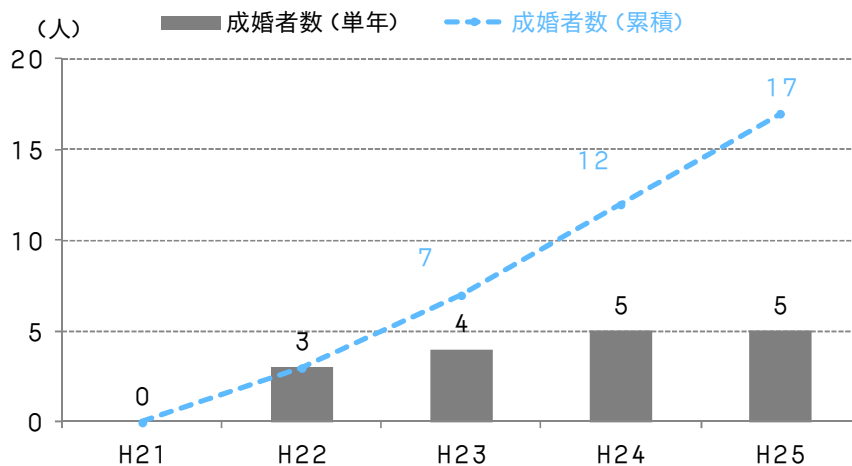
※H20~24 平均値

#### ●出生者数の推移



出典：広島県人口移動統計調査

#### ●婚活事業による成婚者数の推移



出典：安芸高田市 環境生活課調べ

## ■ 具体的施策（公助）

### 施策47 相談・支援体制の充実

- 子育て支援センター及びこども発達支援センターでの相談事業・教室活動及び子育てサークルの活動支援等を行います。
- 相談・支援を担当する職員のスキルアップを図ります。
- 安芸高田市虐待等防止ネットワーク会議を活用し、養育環境に課題のある児童への対応について、関係機関の連携により迅速かつ適切な対応を行います。

### 施策48 幼児保育の充実

- ファミリーサポート事業の宿泊・病後児預かりの拡充により、「24時間保育」体制の充実を図ります。
- 幼保一元化を視野に入れた認定こども園等の新設並びに移行を計画的に進めます。
- 「保育所規模適正化推進計画」に基づき、保育所の統廃合、民営化に取り組みます。
- 山林保育等、特徴ある民間保育園等の誘致について可能性を検討します。

### 施策49 学童保育の充実

- 放課後児童の安全確保と健全育成を図るため、既存の空き教室等の有効利用により受入定員の増加を図ります。

### 施策50 経済的支援の充実

- 子育て家庭の経済的安定に寄与する、児童手当・児童扶養手当や医療費補助等の支援策の充実を図り、子育て世代の暮らしを総合的に支援していきます。

### 施策51 婚活支援の充実

- 結婚コーディネーターを増員し、より多くの出会いの場の創出に努めます。
- 自己アピールや身だしなみ、話し方等、結婚希望者の意識変革講座の開講等に取り組みます。



### 施策実現につなげる自助・共助

- ▶ 親子のコミュニケーションを大切にし、良好な家庭環境を築きましょう。
- ▶ 地域では、子育て世帯や子供への声掛けを積極的に行いましょう。

#### ●ファミリーサポートセンター 交流会の様子



#### ●保育園の様子



## 13 就学前教育の充実

- 保幼小の連携による系統的・効果的な指導体制の充実を図ります。
- 保護者の多様な就労ニーズに対応した幼稚園運営に取り組みます。

### 現状と課題

#### <就学前教育>

- 幼児期は、一人ひとりの子供にとって、意欲や態度、生活習慣等、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる大切な時期です。
- 安芸高田市では2箇所の幼稚園において、創意工夫を活かした幼児教育の推進を図るとともに、小学校への円滑な引き継ぎに努めてきました。
- 教育内容はもとより、預かり保育等保護者ニーズへの対応についても更なる充実が求められています。<sup>1</sup>
- 幼稚園と保育所は、これまでそれぞれ異なる制度に基づき就学前教育・保育の一端を担ってきました。
- しかし、子育ての環境の多様化、家庭や地域における教育力の低下といった社会情勢の中、これまでの制度や概念を超え、幼稚園と保育所それぞれの良さを生かした連携を推進することで利用者ニーズに添えていくことが求められています。

### 目標指標

目標指標	現状値 (H25)	目標値 (H31)
幼稚園行事への保護者、地域の参加者数 (※)	59 人	園児数×2.0 人
幼児教育の推進に対する満足度 (4点満点)	2.39	2.9

※「学校へ行こう週間」における参加者数



### 具体的施策（公助）

#### 施策52 学びの基盤づくりの推進

- 豊かな感性とあふれる好奇心を育むため、幼稚園、保育園、小学校、中学校が連携した系統的・効果的な指導体制の充実を図ります。
- 幼稚園教育要領に基づき、発達や学びの連続性を踏まえた教育内容の充実を図ります。

#### 施策53 多様な保護者ニーズへの対応

- 保護者の多様な就労形態に対応するため、預かり保育の充実を図ります。
- 認定こども園\*の導入を検討します。

### 施策実現につなげる自助・共助

- ▶ 保護者は、認定こども園の導入に向けた議論に参加しましょう。

#### ●幼稚園の様子

